

学童期の中耳炎治療と大学期のアトピー悪化を経て治療を続けた成人アトピーの経過 (26 歳 男性)

症例 ID：001-20-TA | 記録日：2013 年 9 月 15 日

1. 診断・治療前経過

小学校低学年から中耳炎と鼻炎の治療を長期間受け、肘と膝裏に軽いアトピー症状がありました。高校 2 年まで中耳炎治療が続き、真珠腫性中耳炎の手術を受けました。

大学 2 年頃から肘の症状が再燃し、皮膚科でステロイドを繰り返し使用する中で首や全身へ広がりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	肘、膝裏から首、全身へ広がった症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	学童期に断続的、大学期から本格的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
学童期	耳鼻科治療	中耳炎・鼻炎治療を長期間受け、肘と膝裏に湿疹が出ました。
高校 2 年頃	手術	真珠腫性中耳炎の手術を受けました。
大学 2 年頃	アトピー再燃	肘から首へ症状が広がり、ステロイド使用を続けました。
その後	全身悪化	外用薬が効きにくくなり、全身症状が強くなりました。
松本医院受診後	治療開始	従来薬を中止し、煎じ薬、漢方入浴、外用処置を開始しました。
治療経過中	症状の波	強いリバウンドを経ながら、皮膚状態が段階的に変化しました。
記録時点	経過中	治療を継続しながら生活していました。

4. ピーク時期

ピークは大学期、肘から首、全身へ症状が広がり、ステロイド外用を繰り返しても抑えにくくなった時期です。

5. 困りごと

- 中耳炎・鼻炎治療と皮膚症状が長期間続きました。
- 大学生活中に外見とかゆみへの負担がありました。

6. 経過のまとめ

大学期の全身悪化を経て治療を変更し、皮膚状態の変化を確認しながら治療を継続していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。